

まずは問題を解いてみましょう！ 【制限時間：20分】

問1 副交感神経の興奮による生体反応として正しいものの組み合わせはどれか。[過去問]

- a : 散瞳
- b : 血圧上昇
- c : 心拍数低下
- d : 消化管運動亢進
- e : 気管支拡張

- ① a, b ② b, c ③ c, d ④ d, e ⑤ a, e

問2 薬物動態に関する記述として正しいのはどれか。[オリジナル]

- ① 半減期が3日の薬物の血中濃度が1/8になるには6日かかる。
- ② 猫は肝臓においてアセチル化抱合能がない。
- ③ 初回通過効果の影響を受けるのは、経口投与である。
- ④ 肝臓におけるシトクロムP450は基質特異性が高い。
- ⑤ 経口投与は静脈内投与に比べて速やかに血中濃度が上昇する。

問3 右の写真の節足動物が媒介する感染症として誤っているのはどれか。[オリジナル]

- ① 重症熱性血小板減少症 (SFTS)
- ② デング熱
- ③ マラリア
- ④ 犬糸状虫症
- ⑤ ウエストナイル熱



問4 右の写真の薬剤を3kgの猫に5mg/kgでs.c.するとき、投与量は何mlか。[オリジナル]

- ① 0.1ml
- ② 0.3ml
- ③ 0.6ml
- ④ 1.2ml
- ⑤ 1.5ml



問5 動脈血酸素飽和度を測定するのに用いるモニターはどれか。[過去問]

- ① 心電図
- ② パルスオキシメーター
- ③ 自動血圧計
- ④ カブノグラム
- ⑤ 体温計

問6 心電図の波形の中で、心室の脱分極に対応する波はどれか。[過去問]

- ① P波
- ② PQ波
- ③ QRS波
- ④ RST波
- ⑤ T波

問7 右の写真の縫合糸の説明として誤っているのはどれか。[オリジナル]

- ① UPS規格による縫合糸サイズでは7-0より太い糸である。
- ② この針は、皮膚などの硬い組織の縫合に適している。
- ③ この縫合糸は、生体内で使用した場合吸収される。
- ④ 消化管や皮下組織を縫合する際に使用する。
- ⑤ この縫合糸の使用は1回限りである。



問8 猫の肥大型心筋症に関する記述として正しいのはどれか。[過去問]

- ① 心筋が薄くなり、拍出量が低下する。
- ② 心雜音が聞こえることはない。
- ③ 血栓症により後肢の麻痺が見られることがある。
- ④ 興奮させることで、心機能が改善する。
- ⑤ 通常、手術によって完治する。

問9 緑内障を診断するために行われる必須の検査方法はどれか。[過去問]

- ① 涙液量検査（シルマーテスト）
- ② 眼圧測定
- ③ 生体染色検査
- ④ X線検査
- ⑤ 超音波検査

問10 家畜伝染病予防法において、犬での発生を認めた場合獣医師が届け出なければならない感染症はどれか。[オリジナル]

- ① 狂犬病
- ② ジステンパー
- ③ レプトスピラ症
- ④ パルボウイルス感染症
- ⑤ 犬伝染性肝炎（アデノウイルス1型感染症）

マークシートの練習もしておこう！

どんなマークシートが採用されるか分かりませんのでいろいろな種類のマークシートに慣れておりましょう！

◆ 今回は横線を塗りつぶすタイプです

問題番号	選択肢番号	問題番号	選択肢番号
1	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5	6	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5
2	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5	7	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5
3	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5	8	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5
4	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5	9	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5
5	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5	10	□ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5

問1 副交感神経の興奮による生体反応として正しいものの組み合わせはどれか。[過去問]

- a: 散瞳
- b: 血圧上昇
- c: 心拍数低下
- d: 消化管運動亢進
- e: 気管支拡張

- ① a, b ② b, c ③ c, d ④ d, e ⑤ a, e

◆形態機能学 ~神経系~

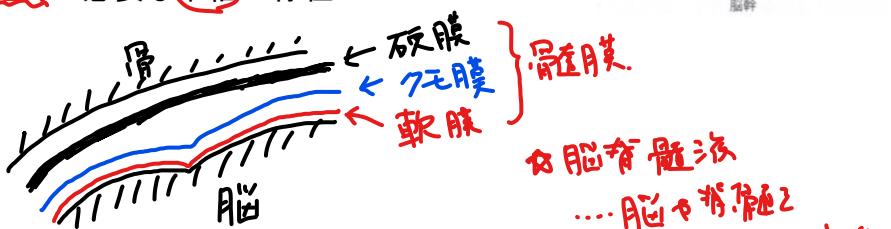
- ・ 脳は、[大脳], [間脳], [中脳], [小脳], [橋], [延髄] からなる

- ・ (間脳), 中脳, 橋, 延髄を合わせて[脳幹]という

→ 循環や呼吸の調節といった生命活動の維持に必要な中枢が存在

- ・ [骨膜] … 脳や脊髄を保護する膜

中枢神経



- ・ 末梢神経は[脳神経]と[脊髄神経]に分類される

→ 脳神経は脳に入り出す神経で [12] 对存在する

… 嗅神経(I), 視神経(II), 動眼神経(III), 滑車神経(IV), 三叉神経(V), 外転神経(VI)

… 顔面神経(VII), 内耳神経(VIII), 舌咽神経(IX), 迷走神経(X), 副神経(XI), 舌下神経(XII)

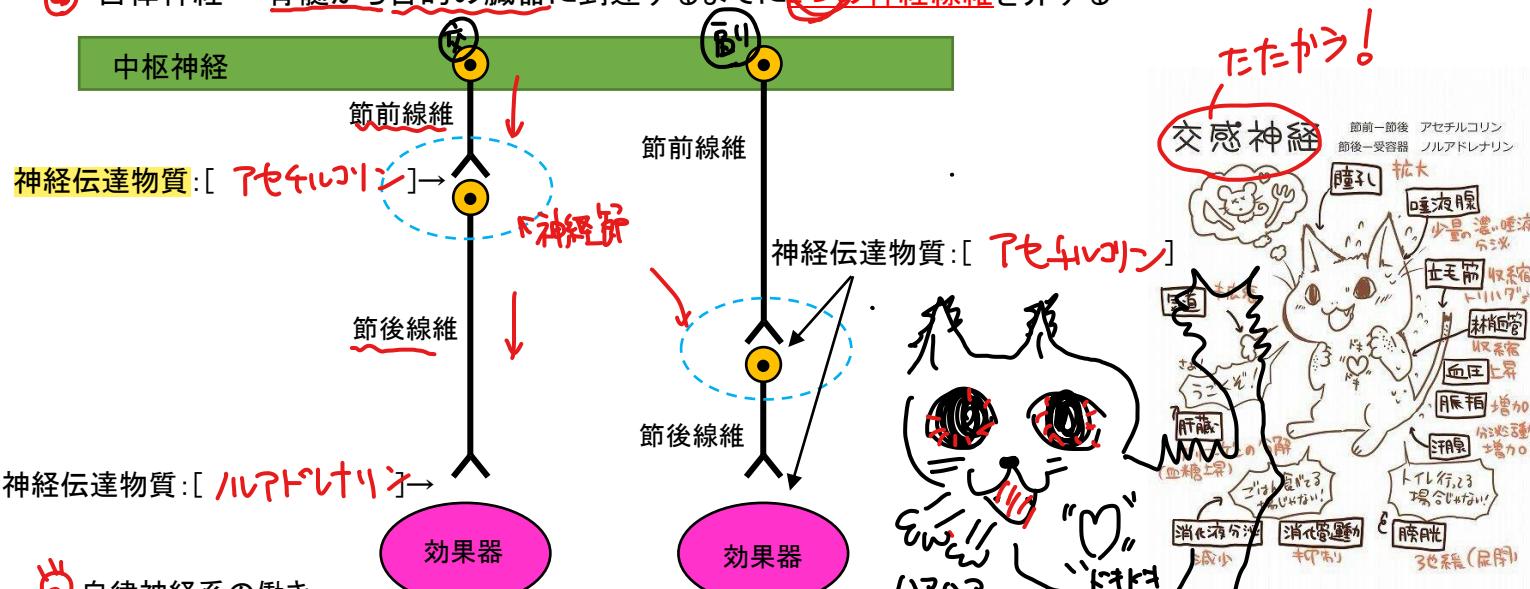
→ 脊髄神経は働きにより, [体性神経]と[自律神経]に分類される

… 体性神経: [感覚神経](求心性)と[延髄神経](遠心性)

… 自律神経: [交感神経]と[副交感神経]



- ② 自律神経 … 脊髄から目的の臓器に到達するまでに 2つの神経線維を介する



③ 自律神経系の働き

	瞳孔	唾液腺	気管支	心拍	消化管	末梢血管	立毛筋
交感 ↓	散瞳	抑制	拡張	増加	抑制	収縮	収縮
副交感 ↓	縮瞳	亢進	収縮	低下	亢進	-	-

問2 薬物動態に関する記述として正しいのはどねか。[オリジナル]

- ① 半減期が3日の薬物の血中濃度が~~1/8~~になるには6日かかる。
 ② 猫は肝臓においてアセチル化抱合能がない。
 ③ 初回通過効果の影響を受けるのは、経口投与である。
 ④ 肝臓におけるシトクロムP450は基質特異性が高い。
 ⑤ 経口投与は静脈内投与に比べて速やかに血中濃度が上昇する。

$$1 \rightarrow \frac{1}{2} \rightarrow \frac{1}{4} \rightarrow \frac{1}{8}$$

9日

◆薬理学 ~薬物動態~

・ 投与方法の特徴

① [静脈内投与] (i.v.) ※初回通過効果[うけない]

… 血中濃度の上昇は速やか、投与の際に痛みを伴う

感染のリスクがある

② [筋肉内投与] (i.m.) ※初回通過効果[うけない]

… 脂溶性の薬物の投与も可能、痛みを伴う

③ [皮下投与] (s.c.) ※初回通過効果[うけない]

… 刺激性の薬物の投与は推奨されない

④ [経口投与] (p.o.) ※初回通過効果[うける]

… 簡便で、過程での投与が可能、血中濃度の上昇は緩やか

家庭

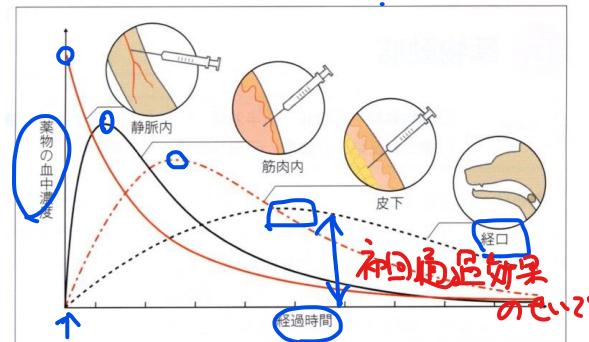


図9 投薬法と薬物の血中濃度の推移

薬物の血中濃度が一番早くピークに達するのは静脈内投与で、ついで筋肉内投与、皮下投与、経口投与の順である。

※初回通過効果

- 薬物は、消化管から吸収されると門脈を介して肝臓に運搬される
- 吸収された薬物は肝臓で代謝を受け効力を失う
- 代謝されずに残った薬物が効果を示す
- 全身に到達する前に薬物が代謝されることを初回通過効果という

●体内での薬物動態(吸收→分布→代謝→排泄)

- [半減期] … 体内に入った薬物は代謝され、排泄されると血中濃度が低下する。血中濃度が半分になるまでの時間を『半減期』という

例) 半減期3日の薬物の濃度が $\frac{1}{8}$ になるのに要する時間は?

$$1 \rightarrow \frac{1}{2} \rightarrow \frac{1}{4} \rightarrow \frac{1}{8}$$

9日かかる

- 静脈内投与では、投与された薬物の100%が利用できる(生物学的利用率高い)が、経口投与された場合いくつかの要因により投与された薬物の一部しか利用出来ない。経口投与において、生物学的利用率が高い薬物の特徴は、①[初回通過効果]、②[水溶性] (脂溶性) (吸収されやすい)、③胃における[酸安定性高] (分解/不活性化されない)の3つがある。
- 吸収された薬物の多くは[肝臓]で代謝される。肝臓ではいくつかの反応により排泄しやすい様に形が変えられる。特に[シトクロムP450]※という酵素の働きが重要である。

※動物種による違い

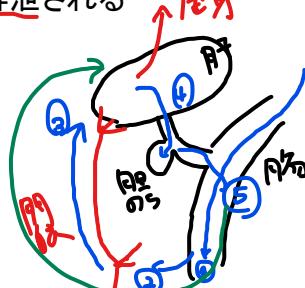
抱合(セントリカル) \rightarrow 水溶性

犬…[セントリカル]がない、猫…[アセチル化抱合]がない

- [腸肝循環] …胆汁中に排泄された薬物が腸管から吸収され、肝臓に戻り再び胆汁中に排泄される

シトクロムP450

- 細胞内の小胞体に多く存在
- 多くの分子種(タイプ)が存在する
- 動物種により違いも存在
- 活性部位にヘムを持つヘムタンパク質
- 多くの遺伝子型があり人では57種類ある



肝臓特異性の高い
基質特異性の高い

問3 右の写真の節足動物が媒介する感染症として誤っているのはどれか。[オリジナル]

- ① 重症熱性血小板減少症 (SFTS) → タニ
 ② デング熱
 ③ マラリア
 ④ 犬糸状虫症
 ⑤ ウエストナイル熱
-) タニ



虫

◆公衆衛生学 ~感染症について(まとめ)~

- ・ [人獣共通感染症] …人と動物の間で伝播する疾病あるいは感染症

- 新興感染症(この20年間に新しく認識された感染症)の約75%は人獣共通感染症

→エボラ出血熱、腸管出血性大腸菌症、重症急性呼吸器症候群(SARS)など

- 病原体は様々で、ウイルス、細菌、真菌、リケッチア、クラミジア、寄生虫、プリオンなど

- 感染経路は様々であるが、特に媒介動物を介して感染する経路が重要

① [タニ]

→ ヘスト

② [ダニ]

→ クリニコ出血熱、重症熱性血小板減少症(SFTS)、ライム病
ダニ媒介性脳炎、日本紅斑熱など (ハーベンア症)

③ [カ]

→ テンダニ、日本脳炎、リトハレ熱、ウエストナイル熱、黄熱
(マラリア、フィラリア)



④ その他

ハエ… 腸管出血性大腸菌症

ハマ… つまむい病

シラミ… 発疹チフス

問4 右の写真の薬剤を3kgの猫に5mg/kgでs.c.するとき、投与量は何mlか。[オリジナル]

皮下投与

- ① 0.1ml
 ② 0.3ml
 ③ 0.6ml
 ④ 1.2ml
 ⑤ 1.5ml

1. 薬量をチェック！

5mg/kg

2. 体重・投与回数・日数などをチェック！

3kg

3. 薬の含量から投与量(答え)を求める！

(15)

$5\% = \frac{5g}{100ml} = \frac{5000mg}{100ml}$

$$= \frac{50mg}{ml} \dots 1ml 中に 50mg 含$$

$$1kg = 500g = xkg = 15kg$$

$$50x = 15$$

$$x = 0.3$$



★ 〇%の問題

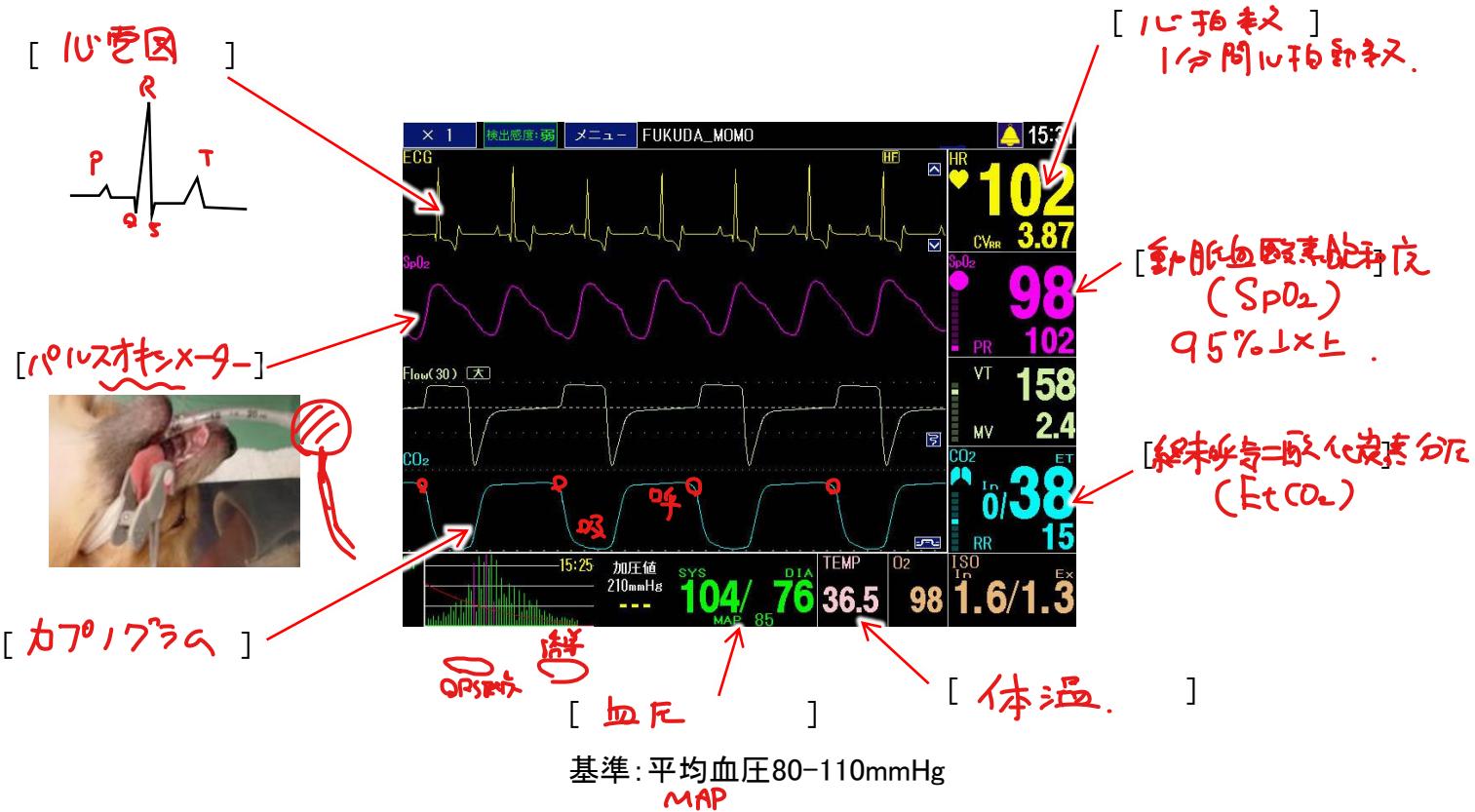
- 5% (w/w) … 粉の時
 $\rightarrow 5g/100g = 5000mg/100g$
- 5% (w/v) … 液体の時
 $\rightarrow 5g/100ml = 5000mg/100ml$

※『1g=1000mg』ですよ！

問5 動脈血酸素飽和度を測定するのに用いるモニターはどれか。[過去問]

- ① 心電図
- ② パルスオキシメーター
- ③ 自動血圧計
- ④ カブノグラム
- ⑤ 体温計

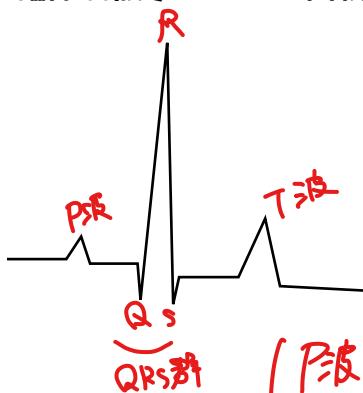
◆外科学 ~生体情報モニター~



問6 心電図の波形の中で、心室の脱分極に対応する波はどれか。[過去問]

- ① P波
- ② PQ波
- ③ QRS波
- ④ RST波
- ⑤ T波

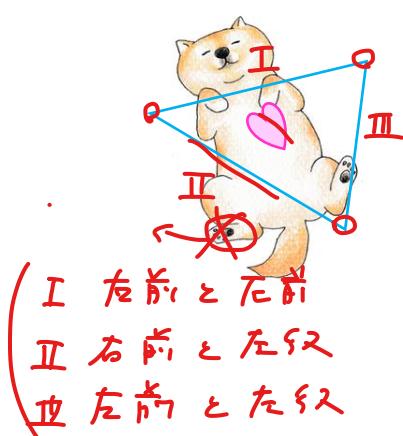
◆臨床看護学 ~心電図検査~



(P波: 心房の脱分極(収縮)(吸気)
 QRS群: 心室の収縮(↑)(↑)
 T波: 心室の舒張期(拡張)(呼気))



★誘導の覚え方
(アイントーベンの三角形)



問7 右の写真の縫合糸の説明として誤っているのはどれか。[オリジナル]

- ① UPS規格による縫合糸サイズでは7-0より太い糸である。✓
- ② この針は、皮膚などの硬い組織の縫合に適している。✗
- ③ この縫合糸は、生体内で使用した場合吸収される。
- ④ 消化管や皮下組織を縫合する際に使用する。✓
- ⑤ この縫合糸の使用は1回限りである。



◆外科学 ~縫合糸~

・ 縫合糸は縫合する場所や目的により使い分ける

・ 針の形状

[丸針] … 腸管や皮下組織などの縫合



[角針] … 皮膚などの硬い組織の縫合



・ 縫合糸の太さ

→UPS規格により太さが規定されている

11-0 10-0 9-0 8-0 7-0 6-0 5-0 4-0 3-0 2-0 0 1 2 3 4 5 6

[細い]

[太い]

・ 糸の性質の違い



モノフィラメント



ブレイド



モノフィラメントは感染しにくいが、柔軟性に欠け結び目がほどけやすい

ブレイドは組織損傷の可能性がある。隙間に感染しやすいが、結び目がほどけにくい



[非吸収糸]: 長期にわたる張力が必要とされる部位に使用する

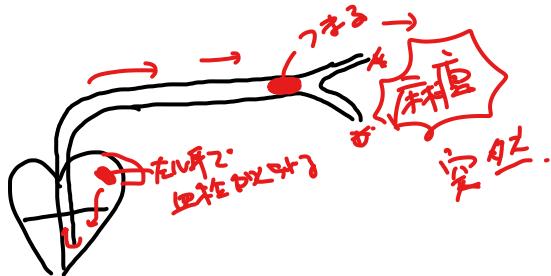
[吸収糸]: 主に生体内で使用され、ある一定期間張力を維持し最終的には吸収される

問8 猫の肥大型心筋症に関する記述として正しいのはどれか。[過去問]

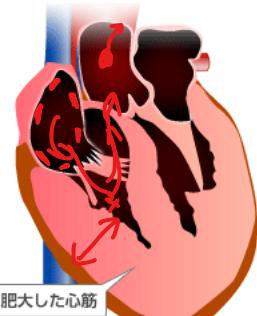
- ① 心筋が薄くなり、拍出量が低下する。
 ② 心雜音が聞こえることはない。
 ③ 血栓症により後肢の麻痺が見られることがある。
 ④ 興奮させることで、心機能が改善する。
 ⑤ 通常、手術によって完治する。

◆内科学 ~肥大型心筋症~

- 心臓の筋肉が厚くなり循環障害を来す疾患
- [猫]で多く見られる
- 多くは[左心室]の心室壁が肥厚し、その結果、左心室の拡張機能が低下する。
- 猫の心筋症では、[大動脈血栓症]が併発することがあり、ほとんどの症例は後肢の血流が阻害され、麻痺を起こす



正常な心臓



肥大型心筋症



【症状】

- 跛行の強い症候、麻痺、パートのナリセ、肢部の腫脹、冷感、体温低(直腸温)
- 循環不全による呼吸困難

【治療】

- 血栓の摘出手術や血栓溶解療法など
- 予後は悪く、再発率も高い疾患

問9 緑内障を診断するために行われる必須の検査方法はどれか。[過去問]

- ① 涙液量検査（シルマーテスト）
- ② 眼圧測定
- ③ 生体染色検査
- ④ X線検査
- ⑤ 超音波検査

◆内科学 ~眼科検査~ ※眼科は検査方法と疾患をセットで覚えよう！！

[シルマー(涙)試験]



涙液量の測定
⇒ドライアイ検査

[ストレチング(知障灯)]

[眼圧測定]



・眼圧と測定
⇒緑内障の際によく
△

[ブルコレセイン染色]



角膜の傷を検出

[眼底検査]



検査の際の注意事項
・網膜や視神経の状況、
・血管

問10 家畜伝染病予防法において、犬での発生を認めた場合獣医師が届け出なければならない感染症はどれか。[オリジナル]

- ① 狂犬病
- ② ジステンパー
- ③ レプトスピラ症
- ④ パルボウイルス感染症
- ⑤ 犬伝染性肝炎（アデノウイルス1型感染症）

◆関係法規 ~家畜伝染病予防法~

- ・家畜が伝染病にかかるあるいはかかっていることが疑われる場合は[都道府県知事]に届出
→[家畜(法定)伝染病]と[届出伝染病]がある
- ・基本的には牛や豚などの家畜が対象動物に指定されているが、
唯一、[レプトスピラ症]は対象動物に『犬』が指定されている



LINE友だち登録

寺子屋ページ

今日もお疲れ様でした！しっかり休んで下さい！！ ようへい